

「イサクの嫁選び」

2025.4.23

聖書に学ぶ9

創世記 24：1～27

結婚とは不思議なものです。まったく他人であった二人が、ある時から同じ家で一緒に暮らすようになります。しかしだからこそ、二人の出会いは大切です。人間的な好き嫌いで、死が二人を分かつまで一緒に暮らすのは簡単なことではありません。

アブラハムは信仰によってイサクを献げましたが、その結婚についても、不思議なことが色々あります。今回は様々な方向から、それに関係して話を勧めて行きます。

今日の学びの要点

- ・アブラハムは、イサクから産まれる代々の子孫も神様の祝福を頂けると信じました(創世記 17:1～8) その為、信仰の厚い彼のしもべに嫁選びを託しました。しもべは、神様が主導権をもって自分をイサクの嫁の処に導かれると信じました。神様はハッキリ分かる奇跡によって、彼に確信を与えられたのです。

I、アブラハムの信仰

1、アブラハムは息子のイサクに妻を迎えようと思いました。

① どのような時でしょうか。(創世記 23:1)

② それはイサクが何歳の時でしょうか？

2、イサクの嫁選びの最大の条件 … 神様の選びとハッキリ分かること

・お見合いではない ・二人が付き合っただけではない ・親が決めたのではない

3、アブラハムがイサクの結婚相手を探すのに、故郷に遣わしたのは誰でしたか。本人のイサクを遣わさなかった理由は何でしょうか。

(創世記 24:2)

① アブラハムは、長年見てきた年長のしもべの信仰がわかっていた。

② イサクの好みで選んで、連れて帰るというのでは、いけなかった。

Ⅱ、アブラハムの家のしもべ

このしもべについては、アブラハムが最初跡取りにしてもいいと思っていた「エリエゼル」ではないかと伝統的に言われている。(創世記 15:2)

1、アブラハムの家のしもべがイサクの妻を選ぶ条件が3つあります。どういことでしょうか。(創世記 24:3~10)

- ①カナン人の娘であってはならない(創世記 24:3)
- ②アブラハムの親族(創世記 24:4)
- ③その娘は約束の地カナンに来る娘でなければならない。(創世記 24:6~8)

2、結婚相手を神が決めておられとたしても、しもべには分かりません。しもべの役割は何でしょうか。

3、彼はこの責任重大な大変な任務に、すぐにアブラハムの親戚の家を尋ねないで、まず祈りました。その具体的な祈りの根拠は何でしょうか。(創世記 24:11~14)

- ①主がすでに、決めておられると、信じている(創世記 24:12)
- ②自分にイサクの嫁に対するイメージが与えられている。(創世記 24:14)
- ③御使いが必ず、導いて出会わせて下さると信じていた。(創世記 24:7)

Ⅱ、アブラハムの家のしもべ

このしもべについては、アブラハムが最初跡取りにしてもいいと思っていた「エリエゼル」ではないかと伝統的に言われている。(創世記 15:2)

2、アブラハムの家のしもべがイサクの妻を選ぶ条件が3つあります。どういことでしょうか。(創世記 24:3~10)

① 創世記 24:3 :

② 創世記 24:4 :

③ 創世記 24:6~8 :

3、結婚相手を神が決めておられとたしても、しもべには誰なのか分かりません。しもべの役割は何でしょうか。

4、彼はこの責任重大な大変な任務に、すぐにアブラハムの親戚の家を尋ねないで、まず祈りました。

その具体的な祈りの根拠は何でしょうか。(創世記 24:11~14)

① 主がすでに、決めておられると、信じている (創世記 24:12)

② 自分にイサクの嫁に対するイメージが与えられている。(創世記 24:14)

③ 御使いが必ず、導いて出会わせて下さると信じていた。(創世記 24:7)